

少年事件に関する書類の参考書式等について

平成18年9月14日家二第000949号  
家庭裁判所長あて家庭局長，総務局長送付

改正 平成28年10月28日家一第272号  
平成30年4月16日家一第38号  
平成30年11月5日家一第197号

別紙記載の参考書式等を別添のとおり作成しましたので，送付します。

(別紙)

- 1-1 審判調書合議用
- 1-2 審判調書単独用
- 1-3 審判調書合議用記載例
- 1-4 審判調書単独用記載例
- 2-1 陳述録取調書合議用
- 2-2 陳述録取調書単独用
- 2-3 陳述録取調書合議用記載例
- 3-1 観護措置決定手続陳述録取調書
- 3-2 観護措置決定手続陳述録取調書記載例
- 4-1 告知調書合議用
- 4-2 告知調書単独用
- 4-3 告知調書合議用記載例
- 5-1 意見聴取書合議用（期日外・裁判所聴取用）
- 5-2 意見聴取書単独用（期日外・裁判所聴取用）
- 5-3 意見聴取書合議用（期日外・裁判所聴取用）記載例
- 6-1 意見聴取書（家庭裁判所調査官聴取用）
- 6-2 意見聴取書（家庭裁判所調査官聴取用）記載例

(別紙番号 1-1)

(審判調書合議用)

裁判長認印

平成 年 (少 ) 第 号

家庭裁判所

審判調書 (第 回)

年 月 日 平成 年 月 日  
場 所  
裁判長裁判官  
裁判官  
裁判官  
裁判所書記官  
家庭裁判所調査官  
少年  
保護者  
保護者  
付添人

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 調書の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号 1 - 2)

(審判調書単独用)

裁判官認印

平成 年 (少 ) 第 号

家庭裁判所

審判調書 (第 回)

年 月 日 平成 年 月 日  
場 所  
裁 判 官  
裁 判 所 書 記 官  
家 庭 裁 判 所 調 査 官  
少 年  
保 護 者  
保 護 者  
付 添 人

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 調書の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号 1 - 3)

(審判調書合議用)

裁判長認印 ㊟

平成〇〇年 (少) 第〇〇〇〇号

〇 〇 家庭裁判所

審判調書 (第 1 回)

年	月	日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
場	所		〇 〇 家庭裁判所
裁判長	裁判官		〇 〇 〇 〇
裁判官			〇 〇 〇 〇
裁判官			〇 〇 〇 〇
裁判所書記官			〇 〇 〇 〇
家庭裁判所調査官			〇 〇 〇 〇
少年	年		〇 〇 〇 〇 (出頭)
保護者 (父)			〇 〇 〇 〇 (出頭)
保護者 (母)			〇 〇 〇 〇 (不出頭)
付添人 (弁護士)			〇 〇 〇 〇 (出頭)
出席者 (保護司)			〇 〇 〇 〇
在席者 (実姉)			〇 〇 〇 〇

人定質問

氏名	〇 〇 〇 〇
年齢	〇〇歳 (平成〇〇年〇〇月〇〇日生)
職業	〇〇〇〇〇
住居	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
本籍	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(略)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所

裁判所書記官 〇 〇 〇 〇 ㊟

(別紙番号 1 - 4)

(審判調書単独用)

裁判官認印 ㊟

平成〇〇年 (少) 第〇〇〇〇号

〇 〇 家庭裁判所

審判調書 (第 1 回)

年	月	日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
場	所		〇 〇 家 庭 裁 判 所
裁	判	官	〇 〇 〇 〇
裁	判	所 書 記 官	〇 〇 〇 〇
家	庭	裁 判 所 調 査 官	〇 〇 〇 〇 (欠 席)
少	年		〇 〇 〇 〇 (出 頭)
保	護	者 ( 父 )	〇 〇 〇 〇 (出 頭)
保	護	者 ( 母 )	〇 〇 〇 〇 (出 頭)
付	添	人 ( 弁 護 士 )	〇 〇 〇 〇 (出 頭)

人定質問

氏 名	〇 〇 〇 〇
年 齡	〇〇歳 (平成〇〇年〇〇月〇〇日生)
職 業	〇〇〇〇〇
住 居	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
本 籍	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(略)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所

裁判所書記官 〇 〇 〇 〇 ㊟

(別紙番号2-1)  
(陳述録取調書合議用)

裁判長認印

平成 年(少)第 号

家庭裁判所

陳 述 録 取 調 書

年 月 日 平成 年 月 日  
場 所  
裁判長裁判官  
裁判官  
裁判官  
裁判所書記官  
家庭裁判所調査官  
少年  
同 席 者  
陳 述 者  
氏 名  
年 齡 歳(平成 年 月 日生)  
職 業  
住 居  
陳 述

以上のとおり録取して読み聞かせたところ間違いない旨を述べて署名押印した。

陳述者

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 調書の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号2-2)  
(陳述録取調書単独用)

裁判官認印

平成 年(少)第 号

家庭裁判所

陳 述 録 取 調 書

年 月 日 平成 年 月 日  
場 所  
裁 判 官  
裁 判 所 書 記 官  
家 庭 裁 判 所 調 査 官  
少 年  
同 席 者  
陳 述 者  
氏 名  
年 齡 歳(平成 年 月 日生)  
職 業  
住 居  
陳 述

以上のとおり録取して読み聞かせたところ間違いない旨を述べて署名押印した。

陳述者

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 調書の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号2-3)  
(陳述録取調書合議用)

裁判長認印 ㊟

平成〇〇年(少)第〇〇〇〇号

〇〇家庭裁判所

陳述録取調書

年	月	日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
場		所	〇〇家庭裁判所
裁判長	裁判官		〇 〇 〇 〇
裁判官			〇 〇 〇 〇
裁判官			〇 〇 〇 〇
裁判所書記官			〇 〇 〇 〇
家庭裁判所調査官			〇 〇 〇 〇
少年			〇 〇 〇 〇
同席者(保護者父)			〇 〇 〇 〇

陳述者

氏名 〇 〇 〇 〇  
年齢 〇〇歳(平成〇〇年〇〇月〇〇日生)  
職業 〇〇〇〇〇  
住居 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

裁判長

- 1 供述を強いられることはないことを説明した。
- 2 審判に付すべき事由の要旨の告知

平成〇〇年〇〇月〇〇日付け検察官作成の送致書記載の「審判に付すべき事由」を読み聞かせた。

陳述者

(略)

以上のとおり録取して読み聞かせたところ間違いない旨を述べて署名押印した。

陳述者 〇 〇 〇 〇 ㊟

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所

裁判所書記官 〇 〇 〇 〇 ㊟



(別紙番号3-1)

(観護措置決定手続陳述録取調書)

裁判官認印

平成 年(少)第 号

家庭裁判所

観護措置決定手続陳述録取調書

年 月 日 平成 年 月 日

場 所

裁 判 官

裁 判 所 書 記 官

家 庭 裁 判 所 調 査 官

少 年

人定質問

氏 名

年 齡 歳(平成 年 月 日生)

職 業

住 居

本 籍

供述を強いられることはないこと及び付添人選任権の説明

裁 判 官

供述を強いられることはないこと及び付添人を選任することができることを説明した。

審判に付すべき事由の要旨の告知及びこれについての陳述

裁 判 官

少 年

以上のおり録取して読み聞かせたところ間違いない旨を述べて署名指印した。

少 年

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 調書の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号 3 - 2)

(観護措置決定手続陳述録取調書)

裁判官認印 ㊟

平成〇〇年 (少) 第〇〇〇〇号

〇 〇 家庭裁判所

観護措置決定手続陳述録取調書

年	月	日	平成〇〇年〇〇月〇〇日					
場		所	〇 〇 家 庭 裁 判 所					
裁	判	官	〇 〇 〇 〇					
裁	判	所	書 記 官	〇 〇 〇 〇				
家	庭	裁	判	所	調	査	官	〇 〇 〇 〇
少		年	〇 〇 〇 〇					

人定質問

氏 名	〇 〇 〇 〇
年 齡	〇〇歳 (平成〇〇年〇〇月〇〇日生)
職 業	〇〇〇〇〇
住 居	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
本 籍	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

供述を強いられることはないこと及び付添人選任権の説明

裁 判 官

供述を強いられることはないこと及び付添人を選任することができることを説明した。

審判に付すべき事由の要旨の告知及びこれについての陳述

裁 判 官

検察官作成の送致書に引用されている司法警察員作成の送致書記載の審判に付すべき事由の要旨を告げた。

少 年

(略)

以上のとおり録取して読み聞かせたところ間違いない旨を述べて署名指印した。

少 年 〇 〇 〇 〇 ㊟
---------------

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所

裁判所書記官 〇 〇 〇 〇 ㊟

(別紙番号4-1)  
(告知調書合議用)

裁判長認印

平成 年(少)第 号

家庭裁判所

告知調書

年 月 日 平成 年 月 日

場 所

裁判長裁判官

裁判官

裁判官

裁判所書記官

少年

同席者

裁判長は、少年に対し、少年審判規則第24条の2の規定により、下記1から3までのとおり告知し、下記4及び5のとおり教示した。

記

- 1 罪となるべき事実 別紙のとおり
- 2 刑事訴訟法第60条第1項第 号の事由
- 3 弁護人を選任することができる旨及び貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨
- 4 弁護士、弁護士法人又は弁護士会を指定して弁護人の選任を申し出ることができる旨及びその申出先
- 5 弁護人の選任を請求するには資力申告書を提出しなければならない旨及びその資力が基準額以上であるときは、あらかじめ、 弁護士会に弁護人の選任の申出をしていなければならない旨

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 調書の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号4-2)  
(告知調書単独用)

裁判官認印

平成 年(少)第 号

家庭裁判所

告知調書

年 月 日 平成 年 月 日  
場 所  
裁 判 官  
裁 判 所 書 記 官  
少 年  
同 席 者

裁判官は、少年に対し、少年審判規則第24条の2の規定により、下記1から3までのとおり告知し、下記4及び5のとおり教示した。

記

- 1 罪となるべき事実 別紙のとおり
- 2 刑事訴訟法第60条第1項第 号の事由
- 3 弁護人を選任することができる旨及び貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨
- 4 弁護士、弁護士法人又は弁護士会を指定して弁護人の選任を申し出ることができる旨及びその申出先
- 5 弁護人の選任を請求するには資力申告書を提出しなければならない旨及びその資力が基準額以上であるときは、あらかじめ、 弁護士会に弁護人の選任の申出をしていなければならない旨

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 調書の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号4-3)  
(告知調書合議用)

裁判長認印 ㊟

平成〇〇年(少)第〇〇〇〇号

〇〇家庭裁判所

告知調書

年	月	日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
場		所	〇〇家庭裁判所
裁判長	裁判官		〇 〇 〇 〇
裁判官			〇 〇 〇 〇
裁判官			〇 〇 〇 〇
裁判所書記官			〇 〇 〇 〇
少年			〇 〇 〇 〇
同席者(保護者父)			〇 〇 〇 〇

裁判長は、少年に対し、少年審判規則第24条の2の規定により、下記1から3までのとおり告知し、下記4及び5のとおり教示した。

記

- 1 罪となるべき事実 別紙のとおり
- 2 刑事訴訟法第60条第1項第 〇 号の事由
- 3 弁護人を選任することができる旨及び貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨
- 4 弁護士、弁護士法人又は弁護士会を指定して弁護人の選任を申し出ることができる旨及びその申出先
- 5 弁護人の選任を請求するには資力申告書を提出しなければならない旨及びその資力が基準額以上であるときは、あらかじめ、 〇〇 弁護士会に弁護人の選任の申出をしていなければならない旨

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所

裁判所書記官 〇 〇 〇 〇 ㊟

(別紙番号5-1)

(意見聴取書合議用(期日外・裁判所聴取用))

裁判長認印

家庭裁判所

平成 年(少)第 号 保護事件 少年

意見聴取書

年 月 日 平成 年 月 日

場 所

裁判長裁判官

裁判官

裁判官

裁判所書記官

陳述者

氏名

被害者との関係

意見の要旨

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 要旨の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号5-2)

(意見聴取書単独用(期日外・裁判所聴取用))

裁判官認印

家庭裁判所

平成 年(少)第 号 保護事件 少年

意見聴取書

年 月 日 平成 年 月 日

場 所

裁 判 官

裁 判 所 書 記 官

陳 述 者

氏 名

被害者との関係

意見の要旨

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 要旨の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号 5 - 3)

(意見聴取書合議用 (期日外・裁判所聴取用))

裁判長認印 ㊟

○ ○ 家庭裁判所

平成○○年 (少) 第○○○○号 ○ ○ 保護事件 少年 ○○○○

意 見 聴 取 書

年 月 日 平成○○年○○月○○日  
場 所 ○ ○ 家 庭 裁 判 所  
裁 判 長 裁 判 官 ○ ○ ○ ○  
裁 判 官 ○ ○ ○ ○  
裁 判 官 ○ ○ ○ ○  
裁 判 所 書 記 官 ○ ○ ○ ○

陳 述 者

氏 名 ○ ○ ○ ○

被害者との関係 ○○○○

意見の要旨

(略)

平成○○年○○月○○日

○○家庭裁判所

裁判所書記官 ○ ○ ○ ○ ㊟



(別紙番号 6 - 1)

(意見聴取書 (家庭裁判所調査官聴取用))

# 意見聴取書

裁判長(官)	主任調査官等

平成 年少第 号 保護事件 少年  
裁判官

上記の保護事件に関し、次のとおり意見を聴取した。

平成 年 月 日

家庭裁判所 支部

家庭裁判所調査官 印

年月日 平成 年 月 日

場 所

陳述者

被害者との関係  本人  法定代理人 ( )

その他 ( )

意見の要旨

(別紙番号6-2)

(意見聴取書(家庭裁判所調査官聴取用))

# 意見聴取書

裁判長(官)	主任調査官等
印	印

平成〇〇年少第〇〇〇〇号 〇〇 保護事件 少年 〇〇〇〇

裁判官 〇 〇 〇 〇

上記の保護事件に関し、次のとおり意見を聴取した。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所

家庭裁判所調査官 〇 〇 〇 〇 印

年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日

場 所 〇〇家庭裁判所

陳述者 〇 〇 〇 〇

被害者との関係  本人  法定代理人 ( )

その他 ( )

意見の要旨

(略)